

令和5年度 社会福祉法人 協愛福祉会 施設自己評価表

(保育理念)

Happy+Natural
Happy+challenge

(保育目標)

げんきな子 やさしい子
がんばる子 ゆたかな子

A：よくできている

B：わりとできている

C：一部改善が必要

D：改善しなければならない

	内容	前年度 評価	今年度 評価	現状・課題
保育 目標に ついて	(1)保育士一人一人が、協愛福祉会の保育理念、保育目標を理解している	B	B	自己評価を毎年行っていき、保育の振り返りをしているが、それ以外で人権擁護のためのセルフチェックも行き、こどもへの言葉かけなどの見直しを行った。結果をみると、まだまだ認識の甘さを感じる
	(2)子ども一人一人の主体性を大切に保育をしている	B	B	
	(3)すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重してい	B	B	
保育 について	(1)保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている	B	B	こどものつぎやきを拾い、そこからの保育の広がりが定着してきた。未満児のドキュメンテーションの在り方も変化があり、発信が見える化してきた。環境も子どもの今を形ににできる職員も増えていき、コーナーが生き生きしている。まだ職員主体の環境も存在しているのが課題。
	(2)3歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立ててい	B	B	
	(3)素材・用具を適切に使用している	B	B	
	(4)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	B	B	
	(5)職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている	C	B	
	(6)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい	B	B	
食育 について	(1)食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立ててい	B	B	栄養士と保育教諭が連携をし食育を進めている。クッキングを盛んにしているが、職員の休み・当日のメニューで設定になっているため、フットワークの悪さが課題。
	(2)栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている	B	B	
	(3)アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている	A	A	
役員 研習 分担任 構成	(1)職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている	B	B	各分野の委員会の仕事比以前より明確になり、職員も率先してしている。
	(2)危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	B	B	
	(3)園内外の研修は計画を立て実行している	B	B	

		評価	評価	現状・課題
保護者支援・情報	(1)保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けて	B	B	年度末のアンケートをもとに保護者の意見に寄り添い、保育をするように心がけている。「子ども一人一人を大切に、保育されているか」に「わからない」と6名の方が答えているのが課題。
	(2)保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	B	B	
	(3)様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	B	B	
	(4)園日より、ドキュメンテーション、きつずノート、ホームページ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	A	A	
	(5)子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	A	A	
	(6)職員に、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	A	A	
開かれた保育園	(1)小学校と連携し、情報交換をする機会を待つ	A	B	感染症以降、小学校のとの連携が減ってきている。多く連携をとり、園での保育を発信していくことが課題。
	(2)気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している	A	A	
子育て支援	(1)地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	B	B	法人で行っている子育て支援に職員が参加し、中央についての発信を行っている。経験豊富な職員をつけていることで、保護者の悩みに聴く事を大事にし、寄り添っている。法人インスタの中で広報戦略委員会の職員が園での活動を発信している
	(2)子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている	C	B	
	(3)園生活の子どもの様子を地域にも発信している	D	A	

総合的な現状と課題

今年度はこどもの権利を尊重するための保育ということで、職員にセルフチェックを行うことで「こどもの人権擁護」や「こどもを尊重すること」についてあらためて意識を高め、保育を振り返った。まだまだ保育教諭の発する言葉の認識の甘さを感じているが、職員が自分の言葉を反省することができているため、今後の保育と子どもたちとの関りに期待したい。保護者もニュースなど取りざたされている「不適切保育」に不安をもっているかもしれないため、今年度は「のぞきあな」という保護者にはなかなか知らせることのない保育教諭の普段の何気ない配慮や関わりを保護者に配信を行った。しかし、保護者への気持ちにまだまだ寄り添えていない部分があるため、日々保育の振り返りを行い、子どもも保護者も職員も充実した日々が送れるようにしたい。